

子どもとスマホについて

先日、家庭教育学級において、スマホが与える子どもへの害について学んでまいりました。スマホを持つことにより、学力の低下、コミュニケーション不足、犯罪に巻き込まれる恐れなど、親としてはスマホの恐さを改めて感じました。そこでぜひ、中学生もしくは高校生までは、子どもにスマホを持たせてはいけないという条例を作っていただきたいのです。

周りの子がスマホを持っていれば、自分の子だけ持たせないというわけにもいきません。条例で決まっていれば、親は子どもを守ることができるのです。

【回答要旨】

ご意見にもあるとおり、スマホが子どもたちに与える影響は、コミュニケーション不足や犯罪に巻き込まれる恐れがあるとされています。

しかし、その一方で、スマホなどのインターネット接続機器は、今や生活する上で非常に便利なツールとなっており、次世代を担う青少年は、インターネットの特性を理解するとともに、このような機器を活用する能力が求められています。

ただし、お子様にスマホを持たせる場合には、お子様に見せたくない情報を遮断したり、インターネット上でのトラブルを防ぐ「フィルタリングサービス」の設定を推奨しております。このことは、サイトやアプリがブロックされた際に、「なぜ、このサイトやアプリを使ってはいけないのか」その理由を一緒に考えることでお子様の情報活用能力の向上にも役立つと考えております。

私は、子どもにスマホを持たせてはいけないという条例を制定するよりも、まずは、スマホなどのインターネット機器を使用する場合には、「マナーや時間を守って使う」や「個人情報を載せない、送らない」など、家庭でのルールをしっかりと決めて、安全に配慮しながら、上手にスマホやインターネットを使っていたくことが子どもたちにとって大切だと考えております。

(平成30年10月回答)